Ramsar Center Japan
c/o Maple Tours Travel Agency
Room 101, 2-3-1 Meguro, Meguro-ku,
Tokyo 153-0063, JAPAN
Tel&Fax:+81 3-3792-5513

ラムサールセンター（湿地と人間研究会）
153-0063 東京都目黒区目黒2-3-1-101
(メープル・ツアーズ内)
Tel:&Fax: 03-3792-5513
E-mail:ramsarcj.nakamura@nifty.com
https://ramsar-cj.site/

＜ラムサール通信＞
2026 年８月 14 日発行　第 228 号

●第 124 回＜ワイズユース＞ワークショップ　開催案内●

第 124 回＜ワイズユース＞ワークショップを、下記のとおり開催します。

今回は、Syaharani 博士による話題提供です（英語）。現地会場とオンラインによるハイブリッド形式で開催します。お近くの方はぜひ会場までお越しください。もちろん、オンラインでのご参加も大歓迎です。皆さまぜひご参加ください。

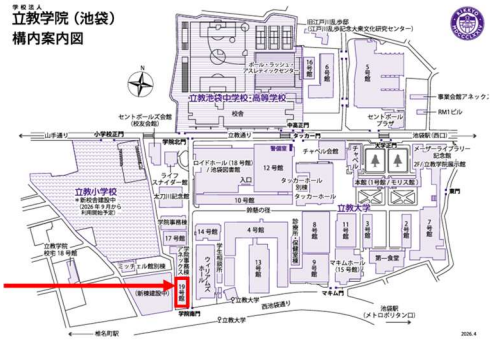
○第 124 回＜ワイズユース＞ワークショップのご案内

【日時】：2026 年 8 月 20 日(木)　14 時 00 分～15 時 30 分
【会場】：立教大学池袋キャンパス 19 号館 1 階 F105 号室
【タイトル】：Indonesia's Wetlands at a Crossroads:
Legal Instruments, Institutions, and Implementation
（邦訳：岐路に立つインドネシアの湿地：法的枠組み、制度及び実施）
［略歴］Dr. Syaharani
インドネシア大学・環境法と気候正義センター研究員。インドネシアにおける環境・エネルギーガバナンスの強化を目的として、気候変動やエネルギー分野における政策策定や市民社会の取組に従事。

○アクセス
「池袋駅」徒歩７分　＊「メトロポリタンロ」の利用をお勧めします
「要町駅」徒歩６分、「椎名町駅」徒歩 12 分

【オンライン参加方法】
Zoom ミーティング ID： 848 9082 6578
ミーティングパスワード： 210183
https://us02web.zoom.us/j/82086091811?pwd=p8g4MyLMdvPxocRgGBMXjGaoSo2cG0.1
右 QR からもご参加いただけます。

会場



●第 36 期　ラムサールセンター総会　開催報告●

ラムサールセンター（RCJ）の第 36 期総会を６月 13 日（土）の午後に開催しました。現地会場 5 名（岩崎慎平さん、亀山保さん、鈴木詩衣菜さん、田辺篤志さん、朴惠眞さん)、オンライン 10 名(岩間徹さん、新井雄喜さん、磯崎博司さん、黒澤信道さん、佐藤奈津子さん、中村大輔さん、中村秀次さん、中村玲子さん、藤岡比左志さん、武者孝幸さん)、計 15 名が参加しました。

総会では、会長の鈴木詩衣菜さんより挨拶が行われた後、フェローの亀山保さんが議長に選出され、議事が進められました。まず、2025 年度の活動について、事務局長の岩崎慎平さんから５つの活動について報告が行われ、承認されました。次に、2025 年度決算の審議に移り、監事の藤岡比左志さんから監査報告が行われました。会費納入率の課題などが指摘され、事務局として引き続き会費納入の呼びかけに努めることなどについて意見が交わされた後、2025 年度決算が承認されました。

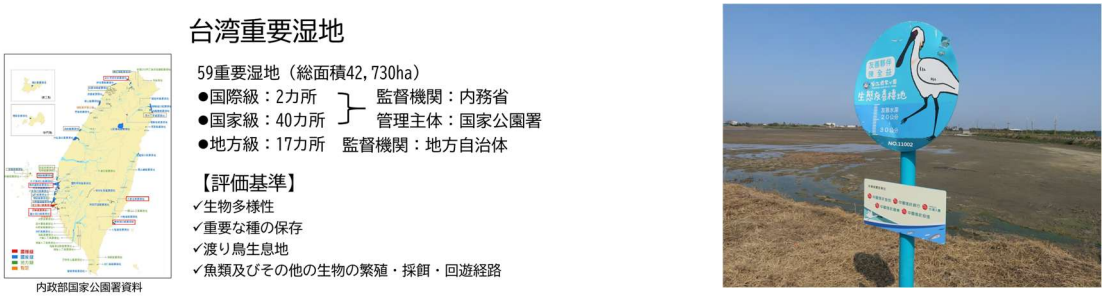
続いて、事務局長の岩崎慎平さんから、第 11 期中期計画（目標年次：COP16）で掲げた４つの目標に対する 2025 年度の活動評価について説明がありました。その後、2026 年度の活動計画および組織体制について、役員交代を含む提案がなされました。活動計画の内、鈴木詩衣菜さんが代表を務める研究助成に係る業務委託および日台湿地交流事業については継続審議とし、その後の役員会において、事業の実施体制や位置づけについて整理を行った結果、2026 年度計画から取り下げることとなりました。その他の議案については審議の結果、承認されました。最後に、事務局長の岩崎慎平さんから、2026 年度収支予算計画案が提案され、審議の結果、承認されました。

また、長年にわたり副会長として RCJ の活動を支えてこられた中村大輔さんが今期をもって退任されました。これまでの多大なるご尽力に、心より感謝申し上げます。今後も湿地教育分野を中心に、これまでと変わらず RCJ の活動にご協力いただく予定です。

別添の総会資料は、総会およびその後の役員会での協議結果を反映した最終版です。

●第 123 回＜ワイズユース＞ワークショップ　開催報告●

2026 年６月 13 日（土）に、第 36 期総会の開催に先立ち、第 123 回＜ワイズユース＞ワークショップを開催しました。今回は、会長の鈴木詩衣菜さんと事務局長の岩崎慎平さんから、2026 年３月６日から 10 日に訪問した台湾の湿地についてご報告いただきました。北部の五股湿地（台北市)、東部の大坡池および卑南渓（台東市)、南部の台江国家公園（台南市)、西部の布袋湿地（嘉義県）など、台湾を一周して訪れた各地の湿地の特徴をはじめ、湿地保全に向けた法制度や多様なステークホルダーとの連携、現地が抱える課題などについて紹介いただきました。



スライド抜粋（左図：台湾の重要湿地、右図：養殖池の冬季湛水によるクロツラヘラサギ保全）

●緑の募金助成事業の活動視察および採択のお知らせ●

緑の募金助成事業に申請した事業「ミャンマー国ウトゥ村周辺村の住民によるマングローブ林再生」が採択されました。本事業は、2024 年７月から 2027 年６月までの３か年計画事業の最終年度にあたります。現地のフィスタ（林業セクター統合開発協会、旧 MFA［ミャンマー森林協会］から名称変更）と連携し、８万本のマングローブ植林をはじめ、次世代の子どもたちへの環境教育や野外学習の実施や、マングローブ林の公共保護林認可の推進に取り組みます。

本事業の採択に先立ち、2026 年６月 15 日から６月 17 日にかけて、亀山保さんと中村玲子さんがミャンマー・ヤンゴンを訪問し、フィスタおよびウトゥ村の村長との打合せを行いました。現地では、事業が順調に進捗していることを確認するとともに、マングローブ保全活動によってカニ・エビ・貝類などの漁獲量が着実に増加していること、マングローブ林の隙間が埋まり、村民による伐採が行われなくなったこと、さらに、一部では植林したニッパヤシの葉を加工・販売することで村民の生計向上にもつながっていることなどを確認しました。また、マルタバン湾に面するエーヤワディ川河口域のデルタ地帯を対象として新規事業についても協議を行いました。本事業にご関心のある方や活動にご協力いただける方は、ぜひ事務局（ramsarcj.nakamura@nifty.com）までご連絡ください。

●湿地動物の恵みに関する伝統的知識に関する国際集会のご案内●

2026 年度採択の KNCF 事業「アジア湿地広域連携アクションプログラム：湿地動物の恵みに関する伝統的知識の発掘と普及啓発」では、湿地動物の恵みに関する伝統的知識の事例収集を目的とした国際集会を開催します。本年度は、マレーシア、タイ、インドネシアで会議の開催を予定しています。

関心のある方は、事務局までご連絡ください。予算次第で旅費補助が可能です。

2026 年 10 月中旬：マレーシア・ペナン島（マレー半島にフォーカス）

2026 年 11 月 19 日：タイ・バンコク（メコン河にフォーカス）

2027 年３月下旬：インドネシア・アチェ（アチェにフォーカス）

●令和８年度会費支払いについてのお願い●

日ごろよりラムサールセンターの活動に深いご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。令和８年度第 37 期（令和８年４月１日～令和９年３月 31 日分）の会費の納入をお願いたします。

令和８年度会費　：8,000 円

下記いずれかの口座にお振込み願います。既にお振込みをいただいておりましたらご放念ください。

【振込先口座１】
ゆうちょ銀行　口座番号:10130-51577221
他の金融機関からのお振込の場合
店名　〇一八(ゼロイチハチ)店番 018　普通預金
口座番号：5157722
口座名義:ラムサールセンター

連絡先　ラムサールセンター事務局（担当　佐藤）
E-mail: ramsarcj.nakamura@nifty.com